

### 第3回摂津市文化振興計画推進審議会会議録

日 時：令和4年11月30日（水） 午後2時から

場 所：市役所301会議室

出席委員：大賀委員、仁木委員、本田委員、阪本委員、早田委員、北岡委員、山下委員、朝倉委員、佐々木委員、杉浦委員、長崎委員

配布資料：・次第  
・委員名簿  
・第3期摂津市文化振興計画素案  
・対応表（第2期計画から第3期計画へ）

#### 1. 開会

・事務局

ただ今より、第3回摂津市文化振興計画推進審議会を開会する。審議会規則第3条第2項の規定による過半数を満たしているため、本日の審議会が成立することを報告する。欠席委員からも事前に連絡をいただいている。本日はオブザーバーとして施設管理公社から館長ほか1名に出席いただいている。また、文化スポーツ課を所管している生活環境部長が出席している。議事に入る前に、資料の確認をさせていただく。

（資料確認）

それでは、会長からあいさつと議事進行をお願いする。

・会長

お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。最近またコロナの感染者数も増えてきたので、摂津市の文化・スポーツの振興を担当するこの会議の重要性がより一層増しているのではないかと考えている。ご検討をよろしくお願いいたします。

議事案件に入る前に、本日の審議会の公開、非公開について皆様にお諮りする。本日の案件について会議を公開するものとして審議を進めさせていただこうと思う。皆様よろしいか。

（異議なし）

皆様の承諾を得られたものとして、本日の案件は公開するものとして進めさせていただく。それでは案件1について、事務局より説明をお願いする。

#### 2. 議事

## 案件1 「第3期摂津市文化振興計画素案について」

### ・事務局

案件1 「第3期摂津市文化振興計画素案」説明。

### ・会長

案件1 についてご意見・ご質問等あるか。

### ・委員

15 ページの具体的な取り組み①活動者・団体間の交流強化について。各団体高齢化しており中間層が少ない。今後は若い方が担っていかなければならないが、それに関して市でどのような取り組みをされているかについてももう少し詳しく聞きたい。

### ・事務局

市の取り組みとしては、もちろんこれまでの活動も引き続き支援することが基本になっていると思う。第3期計画をつくる中で活動者・団体間の交流強化を掲げている一番の理由としては、若い世代を巻き込む取り組みがこれまで思うように進んでいなかった面があるからだ。ただ、現状としてはあくまで各団体を支援するという記載にとどまっている。

### ・委員

摂津市には文化の発表の場が少ないと、市民や私の仲間からも声が上がっている。市民向けの常設ギャラリーを駅前のコミュニティプラザ1階に造れないかと以前から提案しているが、市民全体の施設であり常設では困ると言われ進んでいない。そのため個展や教室展、グループ展を行う際は茨木市、高槻市等のギャラリーを借りている状況だ。摂津市に作品を展示できる会場がないわけではない。文化ホールの中に展示室がある。ただ、入口が奥まっておりを呼び込めないという問題がある。摂津市内に常設ギャラリーを設置する方向で検討いただければ有り難い。

### ・会長

この計画は基本方針のようなもので、今のような具体的な提案については書きづらい面がある。ただ、具体的な問題を解決せず抽象的なことだけを記述しても全く前進しないので、今の意見がどういう形で生かせるかを考える機会があればと思っている。

・委員

6・7ページに総合的目標が新たに加わっている。総合的目標を立てることはよい発想だが、総合的目標2と基本目標1、総合的目標1と基本目標2で内容が重複していると思う。総合的目標とは5年後のビジョンを描くような、もっと大局的なものではないか。基本目標と重なるようなポジションではない気がする。6ページのイメージ図の右端に計画のコンセプトの「人・文化・スポーツが行き交うまち 摂津」があり、これを達成するための総合的目標が2つ矢印で示されているわけだが、その内容がネットワークの形成や環境づくりでは、あまりにも抽象的すぎて目標設定になっていないと思う。何がしたいか市民にわかる、そして基本目標と重複しない総合的目標にしていきたい。例えば私が提案した“摂津市全市民部活構想”など、摂津市の文化・スポーツに関する方向性がすぐにわかるような文言をお願いしたい。

・事務局

総合的目標であるためもう少し大きな表現にすべきというようなことを言われているかと思うが、総合的目標はどちらかといえば基本目標と並列した関係と認識し、このコンセプトに至るための方向性を示すものと位置づけている。基本目標1～3があつたうえ、そこに重なる形で総合的目標が出てきていると捉えていただければと思う。

・委員

具体的な取り組みの中に担当部署が示されているものもあるが、その担当部署における日常業務にどう落とし込み、また業務計画にどのように反映されているのか。

・事務局

関係各課集まったの会議の中で具体的な取り組みに関する情報共有はしている。市の行政経営戦略というものがあり、その中で文化振興分野についても事業評価がなされている。

・委員

具体的な取り組みの中に担当部署の記載がないものもあるが、それはどういうことか。先ほどギャラリーの話も出ていたが、それは実施計画で考え我々で検証していくべきである。今回はあくまで基本計画で、内容としてまとめられていると感じた。

・事務局

課名を記載していない取り組みは基本的に我々文化スポーツ課に係るものである。

#### ・委員

これまでの審議会で形として出来上がったのはイベントガイドぐらいである。提案はいろいろ出るが、進展が遅い。今回立てた基本目標に対しどう進めていくかがこの審議会の本題になるが、具体的に見えなければ毎回会議をしても同じことだと思ふ。だから目標を絞ってはどうか。今のような総合的な書き方では何に絞ればよいか見えてこない。基本目標1に「誰もが文化・スポーツに触れ合える機会づくり」とあるが、我々美術協会は誰でも参加できるということを基本に、これまで市の美術展に出展できるのは16歳以上だったのを13歳から出展できるようにした。より若い人の能力を我々が見出し伸ばしてあげたいと思ったからだ。そうしたところ、今年は学生の作品が去年の倍以上出た。公の場で発表できる喜びを感じ、評価を受けることで自身の活力になる。このように具体的に一つずつ取り組んでいかなければ前に進まないと思ふ。摂津市には素晴らしいものを作る若い人がたくさんいるが、発表の場がない。だから、先ほども申したようにギャラリーを造ってほしいと提案している。スポーツや音楽にしても発表の場が少ないと聞く。多くの市民に見てほしいという思いが文化に携わっている者としてあり、皆さんの力を借りてなんとか進めていけないかと考えているので、よろしく願います。

#### ・事務局

国の文化振興計画自体5年の計画周期であるため、具体的な支援施策は書きにくい面がある。目標に基づいて毎年予算を検討しながら事業を考えていくのが我々の業務だが、ギャラリーの件については以前から要望を頂戴している。コミュニティプラザを所管している自治振興課とも協議しているが、直ちには実現が難しい。ただ、24ページの③に新たな施設整備に向けた取り組みの検討とある。施設の話なのですぐにはいかなないが、今後ギャラリー等を設置できる機会があれば、それを捉えて検討したいと思ふ。

#### ・副会長

計画しても動かないようでは意味がない。動かすシステムをどうにかつくっていただきたいと思ふ。摂津市は文化を大切にしてくれる、ここに住んでいてよかったと市民に思ってもらえるような計画にできればと考えている。

17ページの施策1は「青少年や次世代アーティスト・アスリートを呼び込む文化・スポーツ環境の更なる拡充」だが、ここでの目標はあくまで人づくり、人材育成であるため「呼び込む」では目標とかが離れてしまう。外からアーティスト等を招待してイベントを行うという意味に捉えられかねない。摂津市内での育成ということがもう少し正確に伝わるような言葉があればと考えている。また、施策1の説明文中に「本市における公演活動の支援等の取り組みを進めます」とあるが、公演活動のほかに制作支援も加えてはどうか。

19 ページの現状と課題に「本市イベントの運営において、大学生等も更に関わってもらい」と記述されており 21 ページ上段にも「大学生等に加わってもらう」とあるが、この表現は大学生がお客さんのような印象を与える。互いにフラットな立ち位置として“大学生等と協働で”というような表現に変えてもよいかと思う。

・委員

この計画はアンケート調査から始まったので回答者も気になっていることと思うが、今後どうなっていくかというのが見えづらい。もっとわかりやすい形で摂津市の取り組みを市民に発信してはどうかと思う。シンプルにアピールする方が市民に伝わりやすく、いろいろな方面に広がるきっかけになるような気もする。

ギャラリーの話もあったが、子どものダンスにしても大勢の前で発表する機会がなかなかない。施設は一応あるが、いろいろな方に見てもらえる場所が欲しいと思っている。阪急茨木市駅に市立ギャラリーが入っているが、摂津市駅も開発するそうなのでそこに作品の展示もダンスの発表もできるイベントスペースのようなものを造れないか。そうすれば摂津市駅がにぎやかになり、もっと人が集まるまちにもなると思う。

・委員

高槻には郷土史館があるが、摂津市には全くない。市になって 50 年以上経つが、これまでの歴史が目に見えて市民にアピールできる文化財を展示してほしいと思う。

・事務局

頂戴した意見を文化財の所管課に伝える。

・委員

13 ページの施策3「高齢者・障がいのある人、子育て世代等に対する機会の拡充」について。いろいろとハンディキャップがあっても文化・スポーツ活動に取り組める機会が重要という内容だが、ただ漠然と“参加してください”では困る。例えば車いすの人が参加したい場合どうするかなど、もう少し具体的に記述してほしい。参加しやすい状況でなければ参加できない。誰もが参加できる文化・スポーツというものが重要だと思う。

・事務局

文化スポーツ課でニュースポーツの普及事業を行っており、障がいのある方に参加いただける機会ということで言えばパラリンピックの種目にもなっているボッチャがある。体験会等の参

加いただきやすい環境をつくっていくよう心がけたいと思う。

#### ・会長

先ほどの文化財の件について。5年前にこの計画を立てた際にもそういう意見が出ており検討した。その後どうなったかはわからないが、私が演劇協会で作本を書く際に摂津市の歴史を調べようと思って図書館に行ったところ文献が非常に少なかった。仕方ないので茨木市や高槻市の資料館に行くと摂津市の文献もあった。例えば鳥飼は平安時代の初期から開けた所なので、かの有名なというようなものが絶対あるはずだ。ところが研究者が入っていない。たまに研究者が入ってなんとか見つけたものだけは近隣市の資料館にあるが、それがとても少ないので摂津市は何もないまちと思われる。私も摂津市に携わるまでは昔の摂津市を単なる農村としか思っていなかった。だが、単なる農村にも生活があり、その中にいろいろな文化があった。その痕跡がどこかに残っているはず。高槻市で見つけた文書によると鳥飼一族のことが研究されている。鳥飼一族と言えば京都に残っている古文書にも名前が出てくるが、それに関するものが摂津市の図書館にない。鳥飼の旧家の方は古文書を持っているが蔵に入れたままになっている。そして世代交代するうちに蔵の中身をゴミとして捨ててしまう。そういうことを考えると貴重な文献等を保管できる市の施設があればと思う。かなりの予算措置や地元の協力がなくて絶対できず、1年や2年では取りかかっても形にならないことで、だからこそ5か年計画で考えていくべきではないかと思っている。

部活動について。政府が学校の部活動を校外委託の方針で進めている。私は長年学校に勤めていたので学校における部活動のメリット・デメリットを身に染みて感じている。メリットが広がるような形で校外委託を進めていくなればよいが、新聞で読む限りでは怪しい気がする。学校の先生の過重労働解消のためには必要なことだがメリットもデメリットも研究し、メリットが広がる形で進めてほしいと思う。

この計画にしても、実情を全く知らない人が考えたところでうまくいくわけがない。実際に現場で汗を流している人たちの声を聞きながら計画を立ててほしい。具体的な内容については書きようがないので計画の文章については何も言わないが、奥に含まれているものを汲み取り少しでも前進していけるよう頑張ってもらいたいと思っている。

#### ・委員

何年前かに小学校を取り壊した際、昔の農機具がたくさん出てきた。それを一般に公開するようお願いしたこともある。摂津市にまだお金があるときに美術館を造る計画もあった。だが、財政的に苦しくなり美術館を造るどころではないということで計画が中断している。そのときに買い上げた作品は今どこにあるのか。一部は市役所の廊下に展示しているが、高名な作家の

作品もあったのに行方不明。リストを作るようお願いしたが、今どこにあるかわからないので作れないという話だ。税金を使って買い上げた作品なので市民は見る権利がある。先ほども申したが、これまでの審議会で形として残ったのはイベントガイドぐらい。ガイド作成にあたりいろいろな人の協力を仰ぐのは当然だが、市として取り組む姿勢がうかがえないのが残念だ。市民と市が一体となってみんなが喜ぶまちにできればと思い、ギャラリーの件を提案している。それが実現すれば市民の発表の場が摂津市内に出来る。ということは近場でよい鑑賞ができるわけだ。音楽にしても同様である。市民アーティストのための場を設置するのも市の役目ではないか。計画案をただ書くだけでなく具体的に進めていただくようお願いする。

・会長

今の件は委員一同の切なる願いである。方針案ということで抽象的な文言になってしまうのは仕方がないが、奥での具体的な進展をよろしくお願ひしたい。

・事務局

他部署が作成している摂津市史の中に文化財について細かく載っている。流れの馬場の事件についても詳細に書いてある。この摂津市史はよく出来ていると個人的には感じているので参考にさせていただければと思う。

・会長

図書館の方もそうおっしゃっていた。摂津市の歴史研究の部署があるらしい。ただ、摂津市史というものがあっても人々がそれにアクセスできるかが問題だ。一般市民が手に取りやすい工夫をよろしくお願ひする。

・事務局

本日欠席の委員から意見を預かっているので発表する。

11 ページ、具体的な取り組み①の3点目「摂津音楽祭をはじめ市民が音楽に触れる機会の充実を図る」について。摂津市音楽連盟という団体がある。そこと連携する形で事業展開できればいろいろ活発化するのではないか。

19 ページ、具体的な取り組み①の4点目「生涯学習リーダーやコーディネーターを養成するため、生涯学習大学、生涯学習大学院を開催する」について。大阪府でも高齢者大学や府民カレッジを開催している。そこと連携を取ることで活動に反映できないか。

12 ページ、具体的な取り組み①「誰もが楽しめるスポーツ活動の普及」について。公園やウォーキングコースにある健康器具をもっと有効活用できないか。

20 ページの現状と課題「音楽祭等の申込者数が減少傾向にあり、出場者のすそ野を広げる取り組みが必要」について。音楽祭において本選出場者は審査員から直接講評を聞くことができるという出場者にとってのメリットのような特徴をもっとアピールし、人を呼び込んではどうか。21 ページ、具体的な取り組み②世代を超えて文化・スポーツ情報の行き渡る環境づくりについて。セッピイイベントガイドで今は9月～11月のイベントを紹介しているが、もっと期間を延ばして掲載してはどうか。また、ウェブ媒体で発信すれば若者にも届きやすいのではないか。このような意見をいただいた。総合すると、必ずしも新しいことばかり考えるという視点ではなく既存のものを活用した事業や有効性のアピールをすべきではないかとおっしゃっていると受け取っている。

・委員

これまで文化の話ばかりなので、スポーツ推進委員として意見を述べたい。アンケート結果を見るとスポーツにあまり興味がなく運動していない方が多いように思う。私たちが頑張って周知していく必要があると感じた。摂津市は高齢化が始まっている。高齢者にもっと外に出てきてもらい、そういう方でもできるようなスポーツを推進していきたいと思う。スポーツと聞くと激しい運動を想像しがちだが、ただ体を動かすだけでよいと周知していきたい。

・副会長

表紙にある副題は変更可能か。「文化と、スポーツと、毎日の暮らし。」が副題となっているが、この3つの関係性がわかりづらい。第2期の副題は「市民一人ひとりの暮らしの中に文化が薫るまち・摂津」で非常にわかりやすかった。第3期の副題もわかりやすい文言にしていただければと思う。また、今の副題には読点が入っているが、それが活かされているかについても気になっている。

・会長

ほかにはよろしいか。では、案件1についてはこれで終了する。

案件2「その他」

・会長

案件2について、事務局より説明をお願いします。

・事務局

案件2「その他」説明。

・会長

では本日の議事が全て終了したため、第3回の審議会を閉会する。